

海外新着情報（8月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 中国

・日中間の航空路線拡大に向けた動きについて

～中国～（2022年7月25日）

2020年以降、中国航空当局は新型コロナウイルスの影響で国際線の本数を大幅に制限していましたが、最近になり、ビジネス環境の改善に向けた国際線の再開や増便が認められています。日系航空会社では、6月から全日本空輸が成田―北京線を北京発に限り週1便再開（8月からは成田発も再開予定）となったほか、7月16日から日本航空が成田―天津便を週1便再開しています。また、日本航空は成田空港と中国の北京・上海（浦東）を結ぶ路線の再開に向けて航空当局と調整を開始したと報道されています。

今年3月には日本の水際対策が大幅に緩和され、6月には中国の渡航に係るビザ取得の手続きが緩和（招聘状の取得不要）、また中国入境時の隔離政策の緩和（隔離期間の短縮）が行われるなど、日中間の往来がしやすくなってきているものの、往来需要に航空便が追いついておらず、予約確保の困難や航空券の価格高騰が生じています。今後もこうした航空路線の積極的な再開が期待されます。

○ 東南アジア地域

・有効な検査証明書の入手が困難な邦人向け日本帰国のための大使館レターの発行について

～ タイ・バンコク ～（2022年7月25日）

在タイ日本国大使館は、新型コロナウイルス感染症に罹患し、療養を終えて既に回復しているにも関わらず、検査を何度行っても陽性判定が続く邦人に対して、日本への帰国のためのレターを大使館で発行することをHP上で周知しました。

大使館レターの発行希望者は、パスポートの写しや検査結果等の必要書類を添付の上、領事部邦人援護班宛てにメールで相談することができます。また、相談メール送信後のレター発行までの所要日数は最大5営業日かかるとされています。

・国内での越境移動でワクチン3回接種済み者は陰性証明不要

～ インドネシア ～（2022年7月14日）

インドネシア政府は11日、17日から州・県・市の境を超える移動において、ワクチン3回接種済みの場合、陰性証明が不要となると発表しました。また、2回接種済

みの場合は出発前3×24時間以内のPCR検査または24時間以内の抗原検査の陰性証明が、1回接種済みまたは健康上の理由でワクチン未接種の場合は出発前3×24時間以内のPCR検査陰性証明書が必要となります。

○ 北米地域

・米CDC、ニューヨーク市と近郊地域の新型コロナ感染拡大レベルを「高」に更新 ～ 米国・ニューヨーク ～ (2022年7月22日)

米国疾病予防管理センター（CDC）は7月8日、ニューヨーク（NY）市の5区（マンハッタン、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクス、スタテン・アイランド）と、近郊のナッソー郡とウエストチェスター郡の新型コロナウイルス感染拡大レベルを「中程度」から「高」に更新しました。

レベル「高」とする地域では、（1）公共の屋内ではマスクを着用、（2）対象となっている回数分のワクチン接種を済ませる、（3）症状がある場合は感染検査を受けることが推奨され、また、免疫疾病がある場合には、必要不可欠でない限り公共の屋内で行動しないことなどが推奨されています。